

e-Society基盤ソフトウェアの総合開発

平成19年度予算額 671百万円
(平成18年度予算額 905百万円)
平成15年度～平成19年度

研究開発の目的：世界最高水準の高度情報通信システム形成のための鍵となる基盤ソフトウェアを開発し、いつでもどこでも誰でも安心して参加できるIT社会を構築

研究開発の趣旨及び効果：産業界からのニーズに基づき、大学等が持つ研究ポテンシャル、人材養成機能を最大限活用し、社会の基盤となるソフトウェアの研究開発と研究者養成を一体的に推進することにより、社会基盤ソフトウェアに関わる新たな市場創出が期待される。

高い生産性を持つ高信頼ソフトウェア**作成技術**の開発

プロジェクトリーダー：片山卓也教授(北陸先端大学)



情報の**高信頼蓄積・検索技術等**の開発

プロジェクトリーダー：村岡洋一教授(早稲田大学)